



型材・鋳物門扉用オートクローザ 取付説明書

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為この取付説明書をお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。


■ 注意事項 施工にあたっては次のような点に注意してください。


- ・施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズを付けますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ・外開き時は、開閉時に扉が公道(道路面)等へ飛び出さない位置に設置してください。
- ・施工完了後は、扉の開閉チェックを行い不都合が無いか確認してください。


この取付説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。


絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行なっていたいただくこと」を示しています。

 **注意** セットピンは、オートクローザの調整作業までは絶対にはずさないでください。

 **注意** 取付前・取付時はなるべく雨水等にさらさないでください。

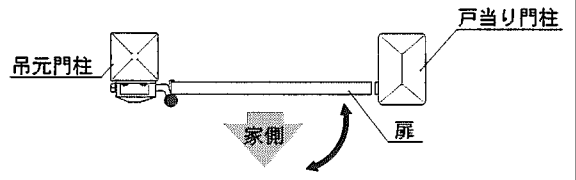
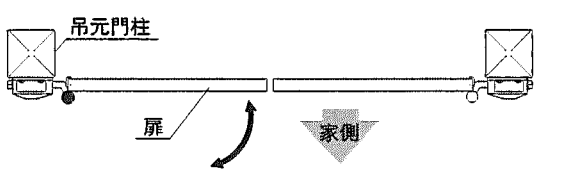
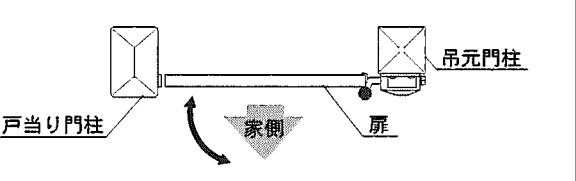
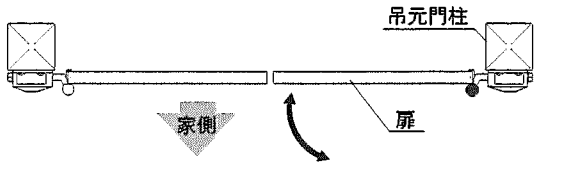
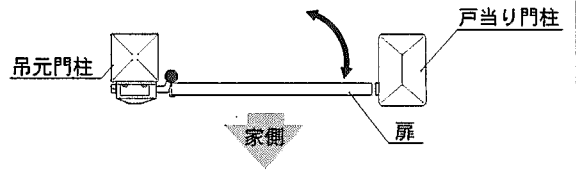
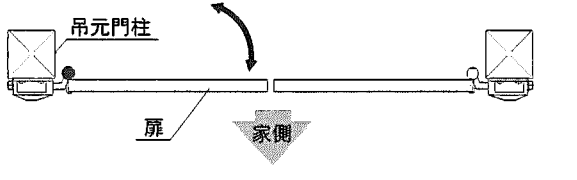
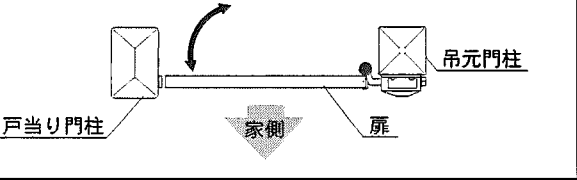
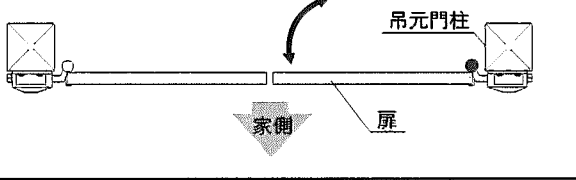
 **注意** 開き角度が小さい場合(約30°以内)、商品の特性上閉扉速度が速くなる場合があります。指等はさまない様、ご注意ください。又、強風時に扉が風にあおられて扉が閉まりきらない事があります。

 この製品には外観視左右勝手があります。又、直付納まりは使用できません。

 オートクローザは、ラッチ錠・プッシュプル錠などの錠の場合のみ、取付けできます。内掛錠には使用できません。

■ 勝手区分の確認

●・・・オートクローザの位置を表します。

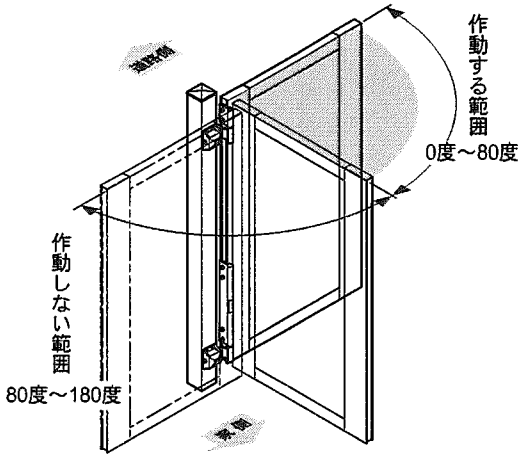
勝手区分		納まり区分	
		片開き納まり時	両開き納まり時
内開き時	右勝手(R)		
	左勝手(L)		
外開き時	右勝手(R)		
	左勝手(L)		

納まり図

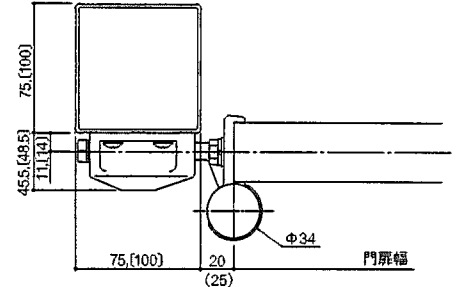
※各図の説明は、外観視右勝手内開きとして表現しています。



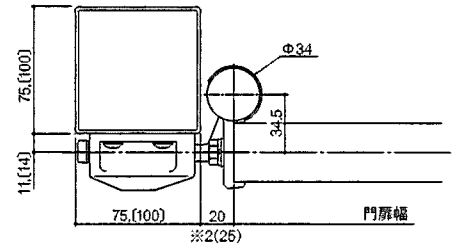
注意 正しく施工されていないと、作動不良の原因となります。正しく施工していただく為、門扉の取付説明書もお読みください。



内開き時納まり



外開き時納まり



- ※1〔〕内の寸法は100角柱の場合を表します。
- ※2()内の寸法は、鋳物用オートクローザの場合を表します。
- ※3外開きの場合、100度程度までしか開きません。
(作動しない範囲80度~100度)

※作動する範囲・作動しない範囲は、標準値です。ヒンジの調整により若干異なります。
※作動しない範囲内では、扉を任意の位置で止める事ができます。

! ※2の門扉と門柱のスキマが18(23)mm以上ある事を確認してください。18(23)mm未満ですと、オートクローザの取付けが出来ません。

梱包明細

●開梱時に次の品物がそろっているか確認してください。
万一欠品などがございましたら、お買い上げの販売店・もよりの営業所までお申しつけください。

部品名称	数量		内容
	形材	鋳物	
オートクローザ本体	1	1	左右あり
ジョイント	1	1	M6×8六角穴付き止めねじ2コ付き 左右あり
キャップ	1	1	本体に取付け済
スプリングセット窓カバー	1	1	本体に取付け済
ねじ持ち	2		本体に取付け済
当て板		1	本体に取付け済

部品名称	数量		内容
	形材	鋳物	
門扉取付用	M8×16六角ボルト	4	本体に取付け済 ハネ座金取付済み
	M8×30六角ボルト	4	本体に取付け済 ハネ座金取付済み
セットピン	1	1	本体に取付け済
取付説明書	1	1	
取付工具セット	1	1	六角棒スパナ①(呼び4) スプリングセット棒② 予備セットピン①

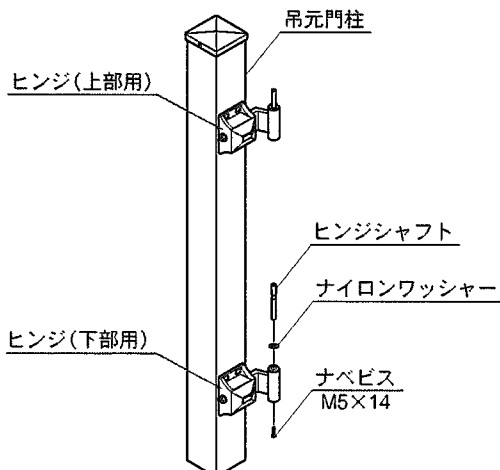
1

オートクローザの取付け準備

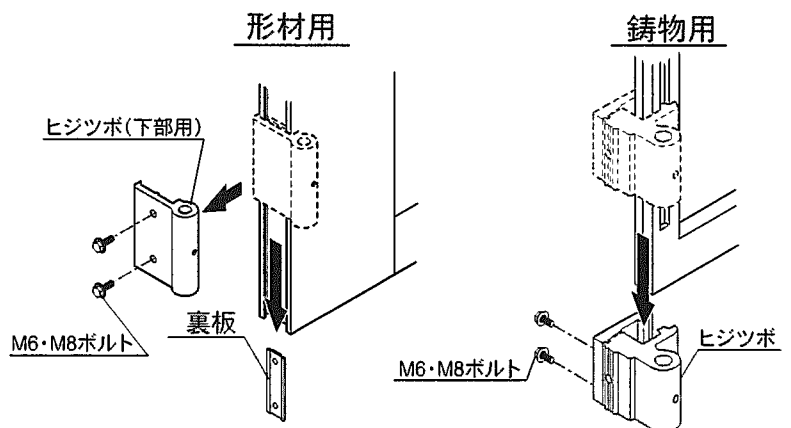


注意 「3.オートクローザの調整」の作業までは、スプリングセット窓カバーを外さないでください。
内側に付いているセットピンが外れ、初期値がわからなくなる恐れがあります。

●オートクローザ取付側の門扉をヒンジより外し、
下側のヒンジシャフトを外します。

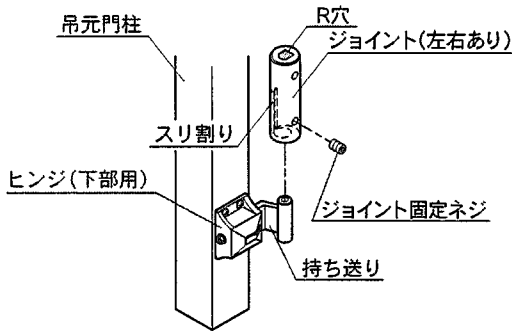


●門扉についている下側のヒジツボを外します。
(オートクローザを後から取付ける場合のみ必要です。)



2 オートクローザの取付け

① ジョイントをヒンジ(下部用)に取付けます。

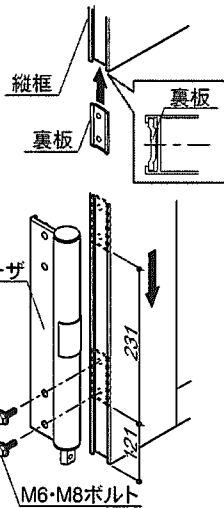


- ジョイントの「R穴」が吊元門柱方向に向いていることを確認してください。
- 持ち送りとスリ割りを合わせ、下方突き当てまで挿入してください。
- ⚠️ ジョイント固定ネジは、付属の六角レンチで確実に締付けてください。(下側のみ)

② 門扉にオートクローザを取付けます。

① モデノ門扉の場合

- 仮組みされているオートクローザから裏板を外してください。
- 裏板を門扉縦框の溝に差し込み裏板の下端を図のピッチで仮置きしてください。
- オートクローザを裏板に合わせて固定してください。



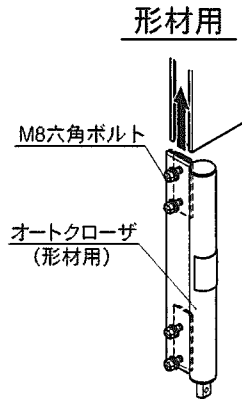
⚠️ 注意

オートクローザは、必ず先に裏板を外して門扉に挿入してから取付けてください。仮組したオートクローザをスライドさせて取付けると、門扉が損傷する恐れがあります。

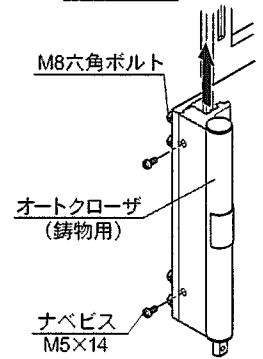
② その他形材・鋳物門扉の場合

- 工場出荷時に仮組みされていますので、先にM8六角ボルトを少しゆるめてください。
- 扉本体のミゾにオートクローザを挿入し、任意の位置に仮止めします。

- 吊込み後にナベビスを締付けてください。

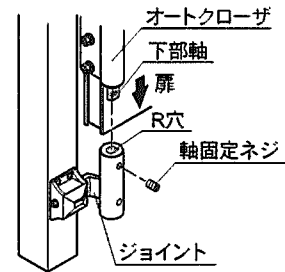


鋳物用



③ 門柱にオートクローザ付きの門扉を吊込みます。

- オートクローザの下部軸をジョイントのR穴に挿入し、軸固定ネジで締付けてください。



⚠️ 注意

オートクローザの下部軸は、回さないでください。内部メカが空まわりし、破損する恐れがあります。

- ⚠️ 軸固定ネジは、付属の六角レンチで確実に締付けてください。

3 オートクローザの調整

- ⚠️ 一般ドア用のクローザと違い、取付け後にスプリングの巻き込み作業(調整)が必要となります。2本のセット棒を使用して巻き込み作業(調整)を行なってください。

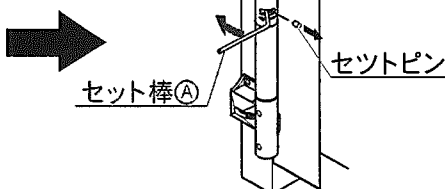
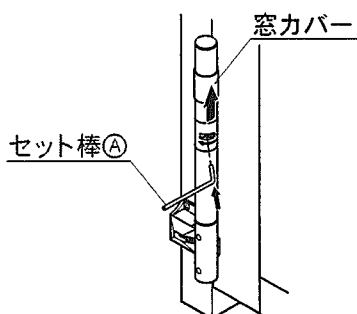
⚠️ 注意

巻き込み作業は、すべての組立・施工を終えてから扉を閉めた状態で行ってください。

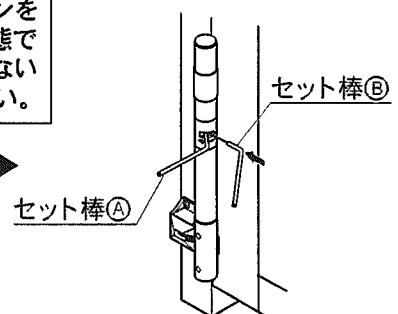
① 窓カバーを上方へスライドさせます。セット棒④を空いている穴に差し込みます。

② 巻き込み方向に少し回し、セットピンをはずします。

③ セット棒④をしっかり支え別の穴にセット棒⑤を差し込みます。



⚠️ 注意 セットピンを外した状態で扉を開けないでください。



注意

巻込み作業は、下表を目安とし、8コ目の孔以上巻込まないでください。万一、セット棒を「3、オートクローザの調整」の前に外した場合、赤印の手前が0コ目になります。ご注意ください。

注意

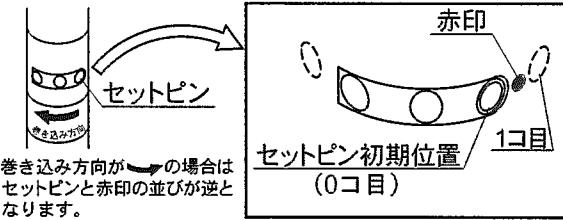
巻込みは、必ず矢印方向に行ってください。

注意

門扉の取り替え、又は調整等でオートクローザを取り外す場合は、逆の要領で必ずスプリングの巻込みを元に戻してください。

適用門扉 サイズ巾(mm)	600 以下	700	800	900	1000	1100	1200
セットピンを 差し込む穴		4コ目			5コ目	6コ目	

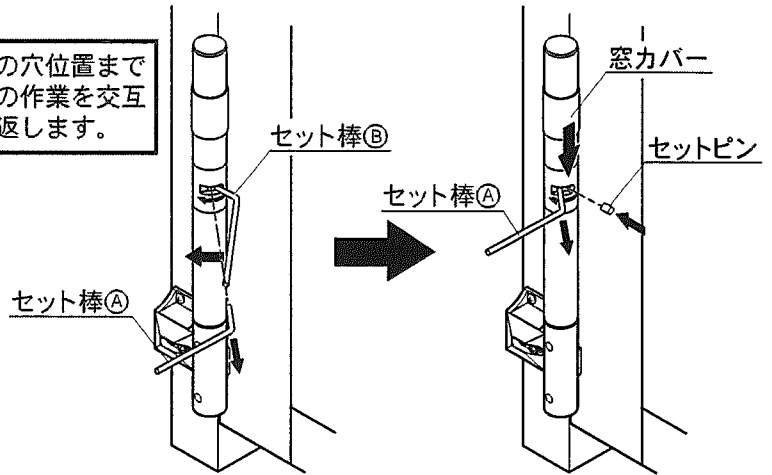
※セットピンの初期位置が0コ目



④ 先に差し込んであったセット棒①をはずします。
セット棒②を巻込み方向(矢印方向)にまわします。

⑤ 左下表の穴位置まできたらセットピンを差し込み、セット棒を抜きます。最後に窓カバーを戻します。

左下表の穴位置まで③、④の作業を交互に繰り返します。



注意

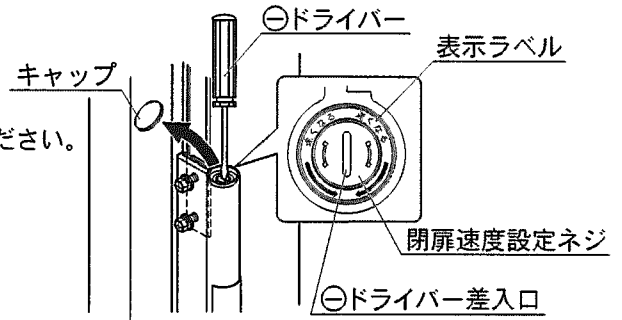
オートクローザの調整後は窓カバーを確実に取付けてください。雨水の浸入等でオートクローザが作動しなくなる恐れがあります。

4 開閉速度の設定

- 上部キャップを外し、⊖ドライバーを使って閉扉速度設定を行ってください。
- 閉じ速度の目安としては、閉扉時間3~5秒に設定してください。

注意

設定終了後は、必ずキャップをはめてください。



5 トラブルQ&A

● 万が一「オートクローザ」の動作に不具合が発生した場合、下記項目をご確認ください。

Q	扉が開り切らない。	A	・スプリングを巻込みましたか？
		処置	⇒所定巻数に設定してください。(門扉幅に合わせて設定する。)
		A	・上部ヒンジと下部ヒンジとの軸芯はでていますか？
		処置	⇒ヒンジを調整し軸芯ズレを解消してください。
		A	・門扉と柱、門扉と門柱のチリ寸法は正しいですか？
		処置	⇒ヒンジを調整しチリ寸法を合わせてください。
		A	・速度調整が遅すぎませんか？
		処置	⇒速度調整でF方向(速くなる)へ調整してください。
Q	閉じ速度が早い。	A	・風が強くありませんか？
		処置	⇒所定巻数よりも若干スプリングの巻数を増やしてください。
Q	扉が開いていく。	A	・速度調整をしましたか？
		処置	⇒速度調整でS方向(遅くなる)へ調整してください。
Q	扉が開いていく。	A	・スプリングを逆に巻込んでいませんか？
		処置	⇒スプリングを正規方向に巻き直してください。スプリングセットラベルの巻込み方向通りに巻込んでください。
Q	扉開閉時、きしみ音がする。	A	・ヒンジ取付ビス等は緩んでいませんか？
		処置	⇒ヒンジ取付ビスの増し締めをしてください。